

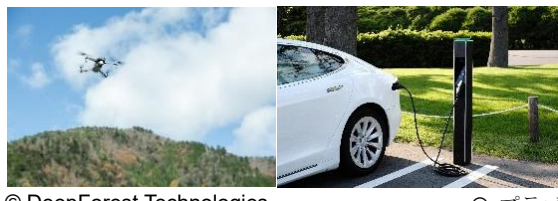
2023年3月17日

住友生命保険相互会社

## 株式会社環境エネルギー投資が組成するファンドへの投資 ～運用収益の獲得と社会課題解決の両立を目指すインパクト投資～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、株式会社環境エネルギー投資（以下「EEI」）が運用する脱炭素に特化したベンチャーファンド（以下「本ファンド」）へ15億円の投資を決定しました。本ファンドは、財務的リターンの獲得と社会的インパクト創出の両立を目指すインパクト投資です。

EEIは、環境・エネルギー分野に特化したベンチャーキャピタルであり、脱炭素を中心に持続可能な社会の実現に貢献する革新的なビジネスモデルや技術を有するスタートアップ企業に対して投資や成長支援を行ってきました。



© DeepForest Technologies

© プラゴ

脱炭素に向けて世界的な潮流が加速する中、本ファンドは、エネルギートランジション、モビリティ&トランスポートーション、スマートシティを主要な投資領域としており、各領域におけるイノベーションや事業機会の拡大が期待できるスタートアップ企業に対し、投資を通じて成長を支援します。住友生命は、投資先企業の成長を通じた財務的リターンの獲得に加え、再生可能エネルギーの普及や省エネルギー化の進展といった社会的インパクトの創出が期待できることから、本ファンドへの投資を決定しました。

### 【本ファンドの概要】

ファンド名称	EEI 5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合
運用会社	株式会社環境エネルギー投資
投資金額	15億円

住友生命は、資産運用を通じて、環境・社会へのポジティブなインパクトの創出に取り組んでおり、中長期の安定的な運用収益確保に加え、脱炭素および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### 【本ファンドを通じて貢献すると想定される主なSDGs項目】



以上